

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国際再生可能エネルギー機関分担金	担当部局	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	国際連携課	課長 塚本直也			
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)	施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第3号 特別会計に関する法律施行令第50条第9項第3号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	再生可能エネルギーの開発とグローバルな普及促進を目的とする国際再生可能エネルギー機関(IRENA)の活動を支援し、世界的な低炭素社会の実現に貢献するとともに、我が国の優れた再生可能エネルギー技術の活用・普及を国際的に推進することにより、我が国の関連産業を一層活性化し、国内における再生可能エネルギーの一層の普及促進に繋げる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	IRENAは、環境保全、気候保護、経済成長、持続可能な開発、エネルギーの安定供給などを図りつつ再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオ、地熱、水力及び海洋エネルギー)の導入と持続可能な利用の促進等を目的としており、この目的のため、IRENAの活動に対して資金拠出を行い、同機関による再生可能エネルギー促進政策に関する助言、技術移転・キャパシティビルディング、国際的な基準づくりへの参加等を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	49	73	46	35
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	49	73	46	35
	執行額	-	-	36	-	-	
執行率(%)	-	0%	49%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	国際機関への拠出金の成果を数値で表すことは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際機関への拠出金の活動指標・実績を数値で表すことは困難。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ -)	算出根拠		-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際再生可能エネルギー機関分担金	46	35	平成24年1月に開催されたIRENA第2回総会において、平成24年予算は16,000,000米ドル、日本の分担率は17.828%と採択されたため、これらに応じた額を要求した。			
	計	46	35				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成24年夏を目途にその抜本的見直しが検討されている「エネルギー・環境戦略」の方向性として「再生可能エネルギーの開発・利用の最大限の加速」が挙げられており、再生可能エネルギーの導入促進は我が国にとって喫緊の課題とされていることから、優先度が高く、国が率先して牽引していく事業である。なお、不用額については、当初、我が国の分担率は我が国の国連分担率(22%)と想定していたが、平成23年4月の第1回IRENA総会においてIRENAへ未加盟であっても署名済みの国にも拠出義務が生じることとなったため、我が国の分担率が当初より低い15.175%に設定され、負担が少なくなったため不用が生じた。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	IRENAは再生可能エネルギーの開発とグローバルな普及促進を目指す唯一の国際機関であり、支出の目的に即した支出先としては妥当。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	設立から間もない組織でもあり、具体的に評価できる成果・実績については、今後の動向に期待する。なお、拠出金については関係4省庁で以下のとおりに分担して拠出している。 経済産業省50%、農林水産省25%、環境省15%、外務省10%
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名 IRENA分担金(経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課国際室、農林水産省大臣官房環境政策課、環境省地球環境局国際連携課、外務省経済局経済安全保障課)	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	平成23年4月にIRENA第1回総会が開催され、平成23年度より実質的な活動が開始された。今後、関係省庁と協力しながら、同機関の活動実績・内容を精査・分析しつつ、分担金の拠出の在り方について検討していく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	311

※平成23年度実績を記入

環境省
36百万円

【内容】
国際再生可能エネルギー機関分担金



【拠出】

A 国際再生可能エネルギー機関
36百万円

【内容】
国際再生可能エネルギー機関 (IRENA)
への拠出

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 国際再生可能エネルギー機関			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
分担金	国際再生可能エネルギー機関への分担金	36			
計		36	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際再生可能エネルギー機関	国際再生可能エネルギー機関への分担金	36	—	—